



発刊によせて

昭和29年4月29日1町4カ村が合併して都留市は誕生した。

あれから10年、市民の愛市の精神を基調としたたゆみなきご努力と関係各位の積極的なご協力によつて、産業の振興、文化の向上はもとより、市民生活の向上をはかり、豊かにして住み良い街づくりに目覚ましい発展を遂げ、着々と前進をつづけております。

この市民一丸となつて築きあげてきた都留市の10年の歩みは新市としての基盤づくりの段階ともいべきでこれからいよいよ飛躍するときであります。

幸い、国土開発の大動脈中央自動車道が着工し、中央線複線化による交通網の整備は、発展をもたらす契機として農産業の近代化を促進し東京の近郊都市とし、また岳麓地帯におけるベッドタウンとして豊かで住み良い街へ脱皮しようとしております。

さらに学園都市として都留文科大学建設を中心とする小・中学校の統合を推進し教育的環境づくりをして、文教都市としての面目を一新しようとの意欲をもつて突き進んでおります。

このときにあたり、当市の歩んだ10年を回顧し、将来への指針とするため市のありのままの姿を紹介し、これによりご理解をいただき、さらに都留市発展のために心をお寄せ下されば幸せであります。

昭和40年3月

都留市長 前田清明